【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	CQ11. 末梢静脈/中心静脈からのがん薬物療法を受ける患者に対して、ＥＶの教育を
対象	がん薬物療法を受ける患者
介入	EV（兆候、症状、対処）の教育を複数回実
対照	がん薬物療法開始時にEVに関する教育（初

＊バイアスリスク，非直接性
各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率） 対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
O1　潰瘍・壊死の減少	症例報告/1	-2	0	N/A	-2	0	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	非常に弱い(D)	9	報告は１文献（症例報告）のみであり、前向き研究等の報告がなく有効性の評価は難しい。
O2　血管外漏出の減少	実践報告/1	-1	0	N/A	-1	0	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	弱い(C)	6	報告は１文献（実践報告）のみであり、教育の効果は明らかではないため有効性の評価は難しい。
O5　(電話)相談数	質的記述的研究/１	-2	0	N/A	-2	0	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	非常に弱い(D)	5	報告は１文献（質的記述的研究）のみであり、教育の重要性は示されているが、血管外漏出に限定した調査は行われていないため有効性の評価は難しい。

※相談数が上がる方が良いのか？

コメント（該当するセルに記入）

		EV発生後に行	1文献のみであ		患者教育に関													
		1施設での実践	1文献のみであ		EV予防のため													
		インタビュ	1文献のみであ		1つのインタ													